

令和元年度福島県
「大学生等による地域づくり支援事業」

田村市船引町瀬川地区 実証実験報告

獨協大学セガワ応援隊



目次

1. はじめに
2. 田村市船引町瀬川地区の概要
3. 瀬川地区の現状と問題点・取り組むべき課題
4. 今年度の実証実験と評価
5. 今年度実施した実態調査と課題設定
6. 次年度以降に向けた企画提案

はじめに

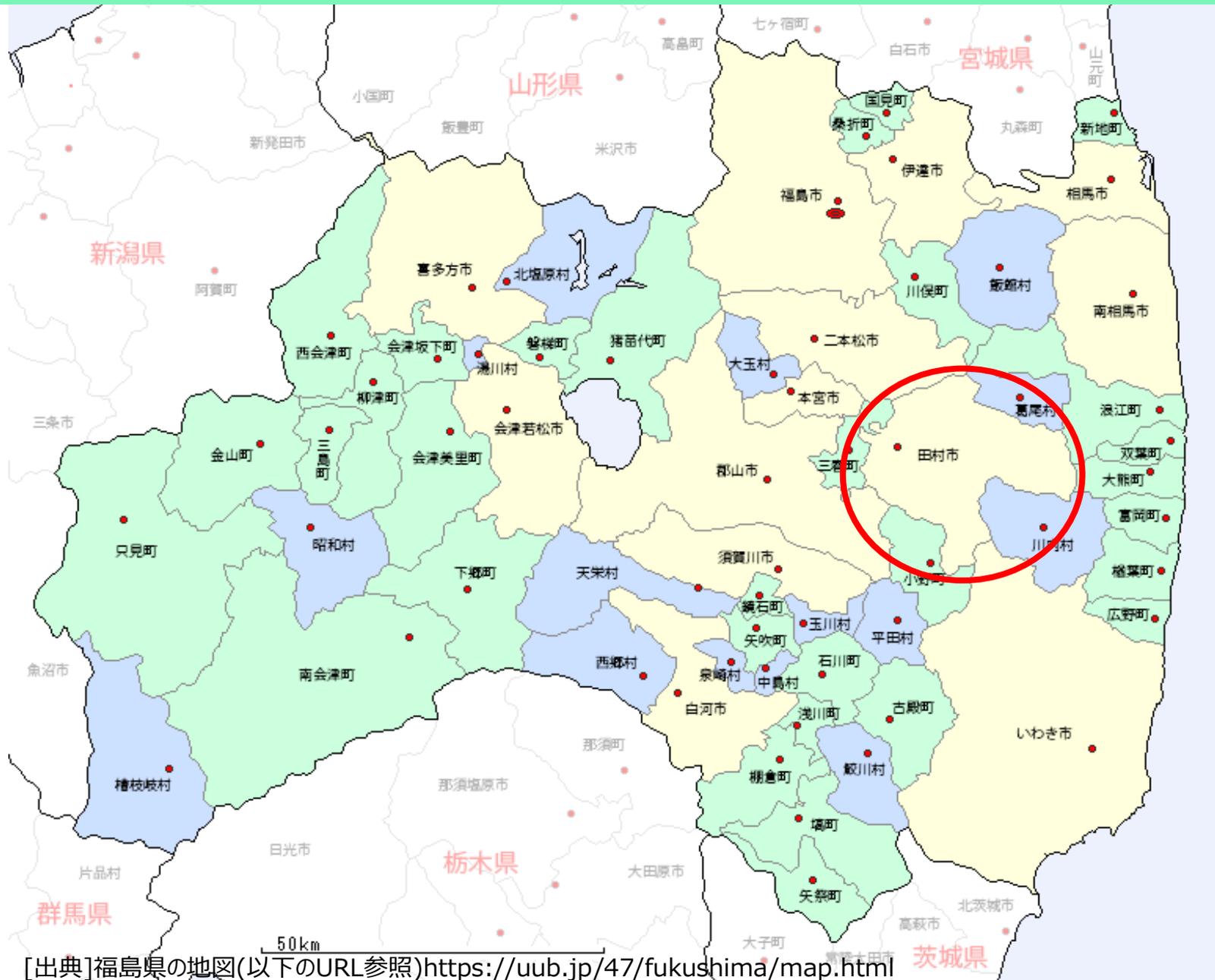
2019年度獨協大学セガワ応援隊メンバー一覧

学科	学年	氏名
総合政策	3	吉田智晶
国際関係法	4	坂本拓海
英語	4	石原 蓮
法律	4	大嶺 輝
国際環境経済	3	溝井彩乃
総合政策	3	岡部将太
国際環境経済	2	田波萌々香

日程	活動内容
9月7・8日	軽トラマルシェとマルシェの打ち合わせ、瀬川地区のフィールドワーク、自然塾の省水力発電見学、交流会、空き地、空き家見学
11月16・17日	瀬川住民センターで開催された「第2回新そば収穫祭&軽トラマルシェ」に参加、瀬川カフェ、クイズ大会、ボランティアを同時に開催

2. 田村市船引町瀬川地区の概要

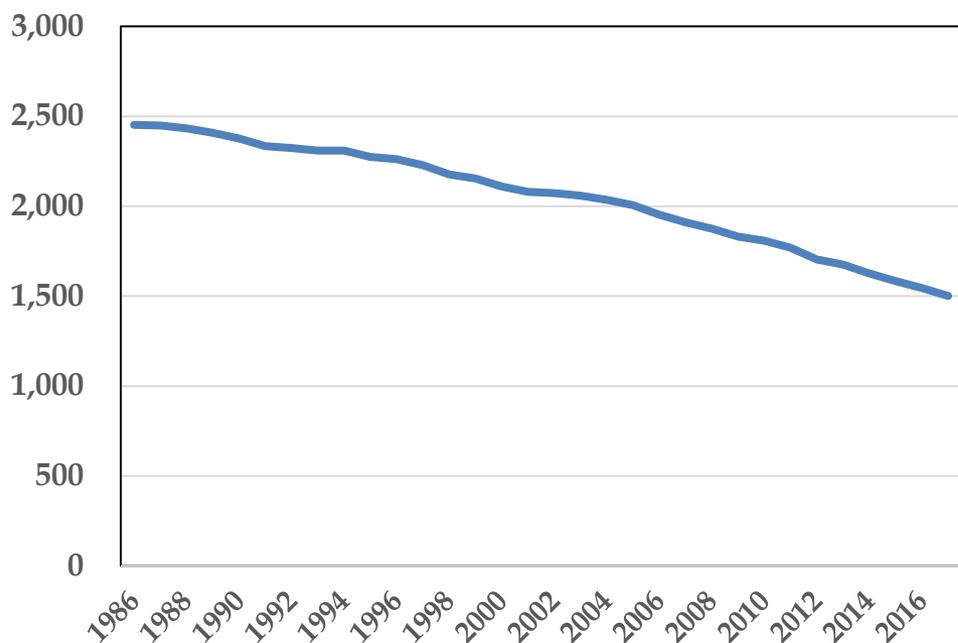
田村市の位置



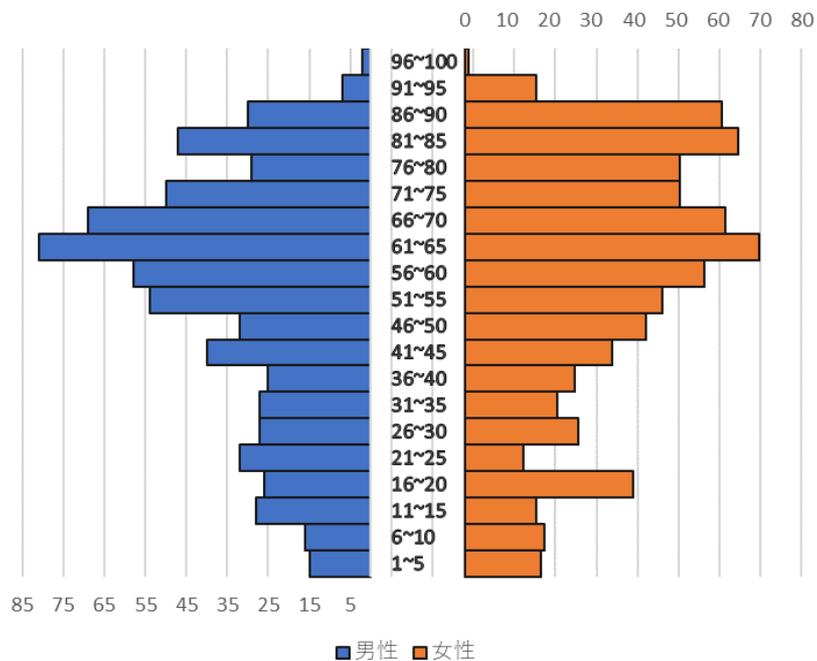
3. 瀬川地区の現状と問題点・取り組むべき課題

3.1. 瀬川地区の人口減少と少子高齢化

瀬川地区の人口の推移



瀬川地区の人口ピラミッド



[出典]「瀬川の人口及び世帯数の推移」『住民基本台帳』より作成。

3.2. 地域活性化支援団体の地域活性化の取り組み

結いの会：セガワ茶屋、フラダンス食事会、
茶道、落語

やってみっ会：新そば収穫祭、
春のウォーキング大会
耕作放棄地にそばを蒔いて収穫
そば打ち検定(大会)

3.3. 今年度取り組むべき課題

[瀬川地区の抱える問題]

子育てしにくく、日常生活が不便
収入源がない。

外部の人が瀬川地区を訪れる理由がない。
耕作放棄地、空き家が増えている。

[取り組むべき課題]

- (1)地域住民の交流する場を増やし、日常生活に対するサポート
- (2)収入を発生させる仕組みをつくる。
- (3)外部から注目してもらい、立ち寄ってもらい、交流人口を増す。

「まずは地域内での交流促進！」



[達成すべき目標]

地域コミュニティを活性化させて、「瀬川プライド」を醸成

4. 今年度の実証実験と評価

4.1. 「新そば収穫祭 & 軽トラマルシェ」開催準備と運営



仁らとがあまりかかった



注目が集まる

第2回|せがわ
★新そば収穫祭
軽トラマルシェ

かき揚げ付き
もりそば
1杯500円
限定100食

カフェもごさいます♪

2019年11月17日(日)
10:00～13:00
会場：瀬川住民センター

軽トラマルシェ出店者募集中！

- 1品からでもOK！
- 申込締切日
10月31日(木)

出店をご希望の方は
下記の連絡先まで

担当者 佐々木:0247-84-2337



昨年の軽トラマルシェの様子
マルシェとは市場のことです

4.2.コミュニティカフェ「喫茶セガワ」の出店

○目的

・前年同様、新そば収穫祭 & 軽トラマルシェを盛り上げるために、そばを提供する場所で、地域交流の場として、コミュニティカフェを開催

○内容

・福島県の企業のフェアトレードコーヒーや、手作りエゴマクッキーの販売



	目標	結果
コーヒー	60杯	31杯
ジュース	40杯	35杯
クッキー	40袋	40袋



4.2. コミュニティカフェ「喫茶セガワ」の出店

○前年度の反省

- ・お客さんへスムーズな接客
- ・クッキーの大きさの均等性
- ・コーヒーのドリップ時間の調整
- ・外から見て、中にカフェがあることがわからない

○評価

- ・クッキーの形が均一になるように筒で形を整えたことで完売することができた。
- ・整理券を導入したことで、スムーズに提供できるようになった。
- ・テーブルクロスやコーヒーカップを高級感のあるものを使用し、よりカフェらしさを演出できた。
- ・時間が少なかったこともあり、コーヒーが少し余ってしまった。
- ・外に向けてカフェのポスターを掲示した。



4.3.大学生 & 地域の方々のボランティア

○目的

・瀬川の方々の苦勞や問題点などに対して支援する。



住民へ手助けになり相互扶助の意識にも繋がり、かつ瀬川について考えるきっかけになりうる

○内容

11/16 ・瀬川住民センター前 花植え
・トマトの藪壊し

○評価

- ・2つとも人手が必要であるので有益な活動だったと思う。
- ・時間が少なかったためあまり大きな仕事をする事ができなかった。
- ・一般の参加者があまり集まらなかったのが残念だった。

ボランティア大募集
11月16日(土) 瀬川住民センター

私たちは、瀬川地区の地域を盛り上げるべく活動された「瀬川大学セタイボランティア」です。
今回は、ボランティアを募集し、大学生と一緒に子供から大人までお母さんと交流しながら、楽しくボランティアを行いたいと思っています！
お母さんの参加が待っています！

詳細
○日時
11月16日(土)
13:30~16:00
○集合場所
瀬川住民センター
○持ち物
汚れてもいい服装、軍手、帽子、飲み物
○応募方法
下記の連絡先まで！
TEL 0247-84-2337

貴からのプレゼント!!
参加者には
11/17の新そば収穫祭の
そば無料
を差し上げます!

事前に配布したチラシ

4.3 大学生 & 地域の方々のボランティアの拡大

○課題

- ・ボランティアが必要な人にどうやってこの活動を知ってもらうか
- ・一般のボランティアが集まるためにはどのような広報が必要か



**人手が足りていないエゴマの収穫期の
援農ボランティア等に繋げる**

**地域の方々の助けになり、
交流もできる場の生成**



4.4 クイズ大会の実施

○目的

地域の方々が船引町、瀬川地区の魅力や問題点についての問題を解くことで、地元の状況の再認識に繋がる

○内容

瀬川の魅力・地元の人々が認識していない問題点等をクイズにして出題する

○評価

- ・外でということもあり、参加していた地域の方々が少なかった。
- ・内容が大人向けであったため子供が参加することができなかった。



子どもも参加できるような問題を作成し、親子で協力して説いてもらえるような形にする



4.6 伝統芸能 ビデオ上映

○伝統芸能の課題

瀬川地区の石沢、新館、大倉、門鹿にはそれぞれ神社には、奉納される伝統芸能があるが、維持が課題に

○目的

伝統芸能の映像を流し、多くの人に見てもらうことによって、その存在絵押ってもらうとともに、魅力を感じてもらう

○内容

イベント時に瀬川のお祭りで行われる伝統芸能の踊りの映像を流す

○評価

来場者が地元の方が多かったので、話が盛り上がる場面も多々あった。
今後は地域外に広める活動も必要



4.6 瀬川地区SNS広報



獨協大学セガワ応援隊

Facebookページの@ユーザーネームを作成

20:54



segawaouentai 3



獨協大学セガワ応援隊
セガワ応援隊！



セガワ応援隊

@segawaouentai

変更

福島県「大学生の力を活用した集落復興支援事業」獨協大学セガワ応援隊です！福島県田村市瀬川地区の情報を発信します🐦【第2回新そば収穫祭&軽トラマルシェ 11/17(日) 瀬川住民センターにて開催！】#福島県 #うつくしまふくしま

📍 福島県田村市

○目的

瀬川地区の事を、SNSを通して情報発信することで多くの人に認知してもらう。

○内容

イベント情報を公開し集客を行う。

○評価

・初年度の活動で試験的運用も兼ねているので、期待していた効果はまだ出ていないと言える。定期的に情報を発信するようにしていくことが重要である。

4.7 Earth Week Dokkyo2019～Winter～ 「セガワ通信」を展示

セガワ通信

○目的

獨協大学の環境を考えるイベント内で、壁新聞を掲載することによって瀬川地区の学内認知度を向上させる。また、獨協セガワ応援隊

の認知度

も同時に向上させる。

○内容

Earth Week Dokkyo2019～Winter～

「セガワ通信」を展示

○評価

- ・学内の認知度向上に貢献することができた。
- ・去年の文字だけの新聞よりも人目を引くことができた。
- ・さらに“読んでもらう”ことを目的としたデザインの壁新聞を作成したい

獨協大学セガワ応援隊

vol.02 2019.12.25

ボランティア活動

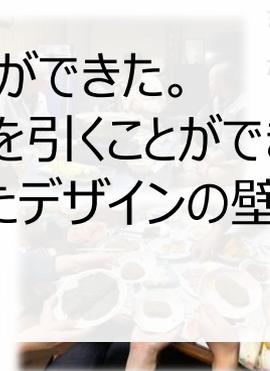
ボランティア活動の企画では、ボランティアを希望する方も募集して、地域貢献と地域交流を目的に開催を決めることになりました。また、ハンジューの企画です。

大人から子供まで多くの方に参加していただき笑顔の絶えない企画となりました。この企画を継続することで、相互扶助の地域づくりを促進していきたいです。



瀬川地区並ひに同じの魅力・知識をより深める為に年齢を問わないクイズ大会を開催しました。しかし、クイズ自体の内容が難しいと地域住民の方々から判断し、急遽問題の解説のみを行いました。結果的には成功とは言えませんが、瀬川地区に現存する魅力が把握できていないことが今回の企画で判明しました。地域住民と私たちも瀬川地区について共に理解していくことが今後も活動を継続していく上で重要な要素だと感じました。

交流会
獨協大学と田村市、瀬川地区の皆さんの親睦を深めることを目的に、交流会を行いました。会場は、コネキンさんです。やってみてみれば、みんな、結の会のみなさん、また、田村市の市議会議員さん、山成信さんにも参加いただき、瀬川地区の魅力や問題点、そして獨協大学との関係性、復興の可能性について話し合いました。



セガワ応援隊

私たちは、福島県を活性化させるために、瀬川地区に訪問をして、喫茶セガワのイベントを行いました！喫茶セガワでは、フェアトレードの温かいコーヒーを販売しました！

喫茶セガワ

地域の皆さんとの交流もできました！

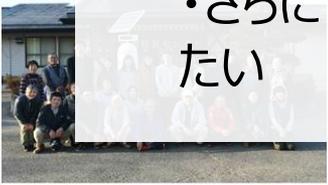
喫茶

イベントにすることができました！

SNSおしらせ

今年からSNSアカウントを開きました！ぜひフォローお願いします！！

Twitter
@segawa



4.8 実施した実証実験の評価と次年度にむけた展望

活動内容一覧

- ・軽トラマルシェ・新そば収穫祭の手伝い
- ・ボランティア活動（花植え、藪壊し）
- ・クイズ大会
- ・伝統芸能上映
- ・「喫茶セガワ」
- ・SNS広報

評価

- ・昨年度も行った軽トラマルシェ及び新そば収穫祭は今年もたくさんの地域住民の方々が来場され、地域の人たちが交流する場になったのでないだろうか。
- ・地域ボランティアやクイズ大会などの初の試みはもっと改善していく必要がある。

次年度への展望

- ・引き続き軽トラマルシェ及び新そば収穫祭で地域交流を深めていく。また、SNSや地域外へ向けた取り組みにも力を入れていく。
- ・実証実験も継続できるものはしていく。また、新しい企画を考え、実行し、地域活性化に役立てていくことが重要である。

5. 今年度実施した実態調査と課題設定

5.1. マイクロ水力発電の見学

• 里山自然塾にて



実態調査

・9月7日8日

・水力発電の魅力

水が流れる限り発電し続ける。風力発電だと風に依るのでこれは不可能。

・問題点

・場所の選定・・・水が流れ続けていて、水力発電の機械が入る。

・工事・・・費用がかかる

・電力をどこにもっていくのか・・・線を引かなければいけないので、費用が掛かる

5.2.瀬川住民センター裏の空き地と隣接する空き家

空地の有効活用



実態調査

- ・ 9月7.8日の現地調査で
空き地整備実施
- ・ 聖地により雑草、木が無くなった
- ・ 石が多くで平らではない

動き

業者に頼むことでより安全な
空地の形成

課題

学生側でお手伝いできることを
地域住民の方々と議論し、
形にしていくこと

5.2 瀬川住民センター裏の空き地と隣接する空き家



瀬川住民センターの西隣には空き家があり、裏の北側には空き地が広がっている。

木の伐採、整地を行った結果、昨年と比べてとてもきれいになった！

- ・やってみっ会、結いの会の拠点にする
- ・茶屋を開き、空き地を芝生公園にして
休み場になるような場所にする

等、いろいろな使い道が考えられる



5.3 移ヶ岳の自然資源



実態調査

- ・9月7日8日に現地調査

課題

- ・たくさんの沢があり、豊富な水が流れている。
- ・かつては、小学校の遠足で、瀬川小学校から山頂まで歩いた。
- ・山頂付近は地震の影響で崩れたため、立ち入れなくなっている。
- ・現在は登山道はほとんど使われておらず手入れがされていない。

6.次年度以降に向けた企画提案

- 6.1. 瀬川住民センター裏の空き地(市の所有地)と隣接する空き家の有効活用
- 6.2. 大学生 & 地域の方々のボランティアの拡大
- 6.3. 瀬川地区体験ポスター作製
- 6.4. 各神社の伝統芸能の振興
- 6.5. SNSを活用した瀬川地区の魅力やイベントの広報
- 6.6. 移ヶ岳の小水力発電の可能性調査とエコツーリズムに関する提案
- 6.8. 田村市全域との広域連携を視野に入れた提案

ご清聴ありがとうございました。

